

## 人を対象とする医学系研究にご協力頂いている学生の保護者様へ

本学において、学生の皆様から取得した情報を利用して下記の研究を行います。研究目的、情報の利用は以下の通りです。本研究は、城西大学学長藤野陽三の承認を得て MicrosoftForms で実施します。

MicrosoftForms でのアンケート調査を行うにあたり、得られた電子データの取り扱いにつきましては、個人情報の保護などの観点から十分に配慮して行います。

アンケートにご回答いただいた場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 研究課題名 「冷えと生活習慣との関係の解明」

## ● 研究対象者の範囲

薬学部 薬学科・薬科学科・医療栄養学科 1・2・3・4年生

## ① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

## 1) 研究の目的

近年、身体の冷えを感じる女性が増加していることが報告されています。冷えは更年期層の女性のみならず、若年層の女性にも多いことが報告されています。また、大学生を対象とした研究では女子学生の約半数が冷えているとの報告があります。性別との関連では、男性の冷えは女性よりも少ないとされており、女子学生の約半数に対して男子学生の約20%が冷えに該当するとの報告があります。東洋医学(中医学)では冷えを放置すれば数々の健康障害につながると考えられ「冷え症」として昔から重要な病態とされてきました。冷えを持つ者は、冷え以外にも胃痛・寝つきが悪い・月経不順・便秘・浅寝・倦怠感等を伴うことがあります。身体の冷えと不快症状が持続することは、生活の質の低下にも影響を及ぼす危険性があります。そこで、本研究は冷えと食生活を中心とした生活習慣の関係について検討することとしました。特に、男女の大学生を対象とすることでこれまで十分に解明されてなかった若年女性と男性の冷えの実態を明らかにすることができます。これらを通して、冷えに関する要因を解明しその予防に寄与することを目的とします。

2) 研究期間 承認後 ～ 2022年 3月 31日

## 3) 他の機関への提供の方法

該当無し

## ② 利用又は提供する試料・情報

アンケートの記録

## ③ 利用する者の範囲（研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名）

1) 研究機関名及び研究責任者氏名

城西大学薬学部医療栄養学科栄養教育学講座 山王丸靖子

2) 共同研究機関名及び研究責任者氏名

なし

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の所属・氏名

城西大学薬学部医療栄養学科栄養教育学講座 山王丸靖子

⑤ 拒否機会の確保（研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること）

本研究の参加者は、アンケートに回答しないことによって本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否し、不利益等を受けることは一切ありません。

⑥ ⑤の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法

eメールにて受け付ける。

※研究対象者等が研究計画書及び研究方法に関する資料を入手又は閲覧する方法

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、城西大学薬学部医療栄養学科栄養教育学講座で研究計画書及び研究方法に関する資料の閲覧を行う事ができます。

[研究対象者等及びその関係者からの相談窓口]

担当者 城西大学薬学部医療栄養学科栄養教育学講座 山王丸 靖子

電話 049-271-7257、 メールアドレス sanchan3@josai.ac.jp